

平成 30 年度唐津市行政改革推進会議 会議概要

(平成 31 年 3 月 28 日開催)

1 会議での主な意見・提案等

- (1) 平成 30 年度行政評価について
- (2) 唐津市行政マネジメントアクションプランの平成 30 年度の取組状況について

主な意見

- ・ 定めた目標を達成するまでのソフト面の評価も入れた方がいいのではないか。
- ・ 目標によっては、100%を達成できない目標もあるように感じる。
- ・ 市が行う事業が多岐にわたり、量も多い中で、定めた目標に向かってやっていくことも大事だが、諦めることも大事。
- ・ 目標を達成するために、主管課が考える施策については、もっと具体的に記載すべきではないか。
- ・ PDCAのサイクルをもっと短い期間でまわすべきではないか。

(3) 行政改革課の取り組みについて

主な意見

- ・ 公共施設の維持も費用を伴うことなので、合併により同様の施設があるのであれば、なくすことも大事だと考える。
- ・ 民営化については、うまくいっている施設を手放すのか、もう少し判断が必要なのではないかと考える。
- ・ 本来受益者負担である使用料について、使用料減免ガイドラインを定め、しっかり取り組まれているのは、いいことだと考える。
- ・ 単一の機能しか持たない施設ではなく、施設の複合化の方針は、とてもいいと思うので進めていただければと考える。

2 今後の対応

- ・ 会議の結果は市のホームページで公表するとともに、関係各課と共有し、今後の取り組みの参考とする。